

新潟県議会議員

笠原よしむね

K A S A H A R A Y O S H I M U N E

県政活動報告

新潟県議会議員 笠原 義宗

一步前へ。

新潟県の今とこれからの動きを伝えます。

令和2年6月補正予算決定!

新型コロナウイルス
感染症緊急対策

◇6月追加事業規模2,059億96百万円

◇対策合計事業規模4,546億94百万円

(注)県の予算(既決予算対応を含む)と連動する民間資金や市町村費などを含めた総額

※今後も必要な対応を随時実施

県議会議員笠原義宗プロフィール

- 産業経済委員会 委員長
- 新総合交通・防災対策特別委員会 委員
- 自由民主党新潟県支部連合会 組織委員長
- 自由民主党新潟県支部連合会 青年局長

コロナ関連 義宗 が質問しました。

質問 コロナ感染症について、発熱など気になる症状がある場合は、帰国者・接触者相談センターに問い合わせることになっているが、今後、インフルエンザ流行期に入ると、発熱など症状が同じ、あるいは類似のことが多くなるだろうが、どのような対応を想定しているか。

新型コロナウイルス感染症を踏まえたインフルエンザの感染予防については、流行前のワクチン接種をこれまで以上に積極的に実施することが重要です。また、手洗いの励行、咳エチケット、不要不急の外出を避けることなどが引き続き重要でありますので、注意喚起してまいります。

地域外来・検査センターは、現在、県内に8か所整備しています。今後、14か所に拡充するとともに、地域外来・検査センターでの1日当たりの検査件数増について、協議してまいります。

新型コロナウイルス禍でのインフルエンザ対策は、現在、医師会や専門家と

も相談しているところであり、具体的な対応については、次回以降の「県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」で議論いただく予定です。

発熱等の症状が出た場合は、感染予防のため、受診前には必ず電話等で症状を伝え、かかりつけ医の指示に従って受診願います。

質問 その他(情報が一般県民にはわかりにくいので) 例えばPCR検査について、秋を目途に500件/日の検査体制を取ると言われているが、現在の体制と今後の増強等の予定を教えてください。

PCR検査については、1日500件以上の検査が可能となるよう、保健環境科学研究所に新たな機器を導入し、検査体制を増強する予定としています。

それまでの間は民間検査機関への委託などにより、検査体制を増強する予定です。

なお、新型コロナウイルス感染症に不安を抱える県民や医療・介護等感染リスクの高い環境で業務を行う方々は、まずは帰国者・接触者相談センター(保健所)にご相談ください。

よしむね
チェック 1 中ノ口川関連河川改修
13億円

よしむね
チェック 2 新たな感染症危機管理
推進事業 60億円

よしむね
チェック 3 新型コロナウイルス
感染症緊急包括支援
事業 87億円

よしむね
チェック 4 新型コロナウイルス
感染症対応型新潟県
文化祭2020開催費
1,844万円

よしむね
チェック 5 県内宿泊需要喚起緊急
対策事業 6億5千万円

よしむね
チェック 6 未来創造産業立地促進
補助金(ものづくり国内
回帰工場立地支援)
3億3千万円

よしむね
チェック 7 園芸振興基本戦略推進
総合対策事業 3億9千万円

よしむね
チェック 8 県立学校ICT環境
整備費 13億円



南区の皆さんこんにちは、県議会議員笠原義宗です。

毎年春に新潟県予算を含め県政報告を配布させて頂いておりましたが、2月より新型コロナウイルス感染症が本県でも広がったことにより、今回は新型コロナウイルス感染症の補助事業や雇用対策などを一覽にし県政報告を届けさせて頂きます。また動きがあれば第二段の報告をさせて頂きます。

新型コロナウイルス感染症が世界に拡がり猛威を奮っており、我が国は今まで経験することがなかった非常事態の対応をしている状況となっています。未だ収束の見込みが立たず地域の方から雇用や生活の不安、所得の減少などの声を聞きますし、事業者の方からは売上げの減少、雇用の維持、先々への資金の不安があると意見を伺っております。非常事態ですので様々な支援策を積極的に使って頂きこの難局を乗り越えて頂けるよう私も努力していきます。

新型コロナウイルス感染症の6月補正予算により、PCR検査体制の拡充や保健所・病院などの医療体制の強化、経済的なセーフティーネット資金や三密対策に対する支援制度、農業施策、雇用の維持やひとり親の支援など、幅広く施策を進めています。県の行財政改革による予算の問題もありますが、国の有効的な資

金を得ながら生活と命を守るために知事がリーダーシップを発揮し日々奮闘していますので、私も地域の課題を届け、後押しをしていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の第二波や秋冬から始まる風邪やインフルエンザなどの発熱に対する対応が問題視されており、医療現場がしっかりと対応できる仕組みづくりを県や市町村・医師会をはじめ各種団体等で対策を考えているところでありますが、早期発見・早期対応を進め重篤患者をなるべく出さないような取り組みが重要であると考えています。

また、今後想定されるインフルエンザ流行期に備え、流行期前に予防接種を受け、類似した症状をできるだけ少なくする対策も必要となるでしょう。

南区においては県立白根高校の魅力を高める取り組みや、集中豪雨対策として中ノ口川の河川改修事業を力強く進めており、南区の魅力であるルレクチュエや越後姫・枝豆・県の花であるチューリップなどの農業振興に県として力を入れています。新潟駅から燕三条駅までのバス交通を含めた機能的な公共交通やターミナルの設置など、将来を見据えた魅力ある南区づくりを進めていきます。

今後とも新型コロナウイルス感染症が収束するまで国会議員・市議会議員の皆様と力を合わせて地域の声を届けて参りますので、皆様のご指導を宜しくお願い致します。

